

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	社員も会社も地域も「健幸」になる！健康経営トライアル事業
事業主体 (連絡先)	伊那商工会議所女子会プロジェクト委員会 0265-72-7000
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	953,503 円 (うち支援金：761,000 円)

事業内容

- 企業において健康の大切さの周知と「健康経営」の仕組みづくりのために国等が推進している「健康経営優良法人認定制度」取得企業を増やすためのセミナーを2回開催。
- 従業員や地域の住民に健康であることの素晴らしさや体を動かすことの楽しさを知ってもらうために、大芝高原セラピーロードでウォーキングイベントを開催。
- 仕事の業種によって体の疲れ方や疲れる場所が違うことから、それぞれにあったストレッチを取り入れることでより仕事の効率が上がるストレッチを考案する。



【健康ウォーキング】

【目標・ねらい】

- ①「健康経営」についての周知と導入の仕組みづくり
- ②「健康経営優良法人認定」企業を増やす

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- セミナー開催により、「健康経営」への関心がたかまり、参加者アンケートでは64%の人が今後健康経営に取り組みたいという結果であった。
- 「健康づくりチャレンジ宣言」企業2社→10社
「健康経営優良法人2019認定」企業2社→7社
- ウォーキングイベントでは92名の参加があり、企業だけではなく、地域の人達にも健康の大切さを周知することができた。

※自己評価【A】

【理由】

「健康経営」への関心が高まり、「健康経営優良法人認定」企業を増やすことができた。地域住民へも健康の大切さを周知できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 地道にセミナーの開催と取得後の継続のため個別アドバイスをする。
- 関係機関等と連携をとり、認定企業へのインセンティブを要望していく。
- 認定がゴールではなく、健康への取り組みが習慣となり、生産性の向上に繋がるよう健康アドバイザーの活用と積極的な個別訪問をする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある